

事務事業名	42650 東京オリンピック事前キャンプ地誘致事業	予算科目	会計 一般 10	款 5	項 1	目	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
所管課	体育振興課	担当班	体育振興班					
施策体系	基本施策 17 交流の促進 施策の展開 31 交流事業の促進	根拠法令	東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部設置要綱					
施策の展開		戦略事業	150 オリンピック事前キャンプ地誘致					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない		
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 元 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部及び推進部会を運営し、卓球、陸上競技等の事前キャンプ地の誘致に取り組む。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機会を捉え、旭市を事前キャンプ地として誘致することで、市のスポーツ及び産業の振興に資するため、東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部を設置した。平成26年11月1日、設置要綱を施行。	平成28年度から推進本部の事務局が企画政策課から体育振興課へ移行。総合体育館の事前トレーニング(キャンプ)候補地ガイド(紹介リスト)への登録を目指す。また日独交流事業、千葉県知事のドイツ訪問の機会を捉え、ドイツとの事前キャンプ地の交渉を進めたい。	特になし	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	2,539	日本人オリンピックによる卓球指導会・体験会、既存卓球台天板交換(8台)、副審判台購入(8台)
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	0	地域振興基金繰入金
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	1 オリンピック事前キャンプ地誘致活動経費	千円	0	360	8,673	2,539	7,254
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円		8,673			7,254
	5. 一般財源	千円	0	360	0	2,539	0

前年度増減理由 昨年度は訪独し、誘致活動を実施したが、今年度は訪独しなかったため。

従事職員数 常時 1 人 最大 6 人 × 17 日 = 延べ 102 人

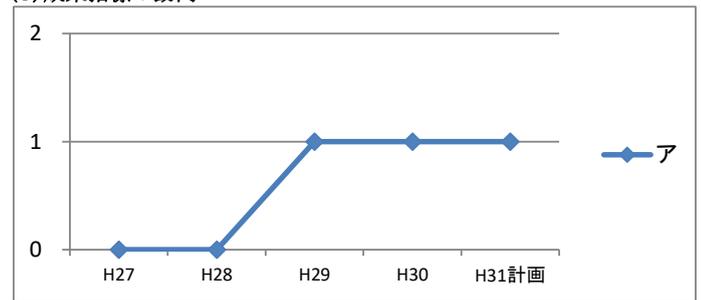
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動) ■7月ビーチクリーン(サーフィン)、聖火リレーのルートについて知事へ要望書提出 ■8月日独交流事業(ホストタウン交流事業) ■9月アスリートハウスウェイ(卓球合宿)、宮崎藤仁氏(オリンピック)卓球指導会・体験会、オリンピック誘致会(旭二中) ■1月ホストタウン市長会議(市長) ■2月サーフィン事前キャンプ旭市PR書をブラジルへ提出、日本サーフィン連盟訪問 ■3月世界卓球選手権日本代表選手選考会視察(仙台市) ■既存卓球台8台天板交換、副審判台8台購入	ア 《オリンピック》視察件数	件	1	0	0	0	1
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象意図 《オリンピック》事前キャンプ実施国 旭市の魅力、おもてなしをアピールし、事前キャンプ実施国との交渉を成功させ、キャンプ地誘致につなげる。	ア 《オリンピック》事前キャンプ地誘致国の決定	国	-	0	1	1	1

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果	② コスト削減優先度評価結果
成果向上余地 かなりある ① ある程度ある ほとんどない	コスト比率 下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3 ① (1) ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨
施策貢献度 大きい 普通 小さい	評価優先度 ① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イのタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 比較 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31計画 成果動向 ア - 0 1 0 0 イ
【コメント】(低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 9月 未定 内容 日本人オリンピックによる卓球体験会・指導会 ドイツ卓球チームとの覚書締結 今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他() 令和元年度中 ドイツ卓球チームとの覚書締結